

# 青雲

【目指す学校像】

学びと感動と温かさのある学校

- 【教育目標】
- 1 自主・自学の向上心を持ち、真剣に学習する生徒
  - 2 礼節の中に思いやりを持ち、互いに認め合う生徒
  - 3 心身を鍛え合い、たくましく生きる生徒

【校訓】 『親和一誠』『自発協力』



## 巣立ちの時

## 第69回卒業式



吹奏楽部の演奏で卒業生が入退場しました

3月9日(金)第69回卒業式が盛大に挙行されました。103名の卒業生が、巣立ちの時を迎えたこの日に、多くのご来賓・保護者の皆様にご参列いただきました。誠にありがとうございました。およそ2時間の式でしたが、厳粛な雰囲気の中に温かみのある式となりました。卒業生の涙、保護者の涙、そして職員員の涙……。感動のうちに無事に終了することができました。



校長より生徒一人一人に卒業証書が手渡された後、次のような式辞がありました。

### 『式辞』

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとう。証書を受け取る姿に、決意と希望が感じられました。卒業生は個性豊かで、芯をしっかりともらった生徒達です。中総体での大活躍、市駅伝大会3連覇、昼休みに校庭を駆け回る一方で、本をたくさん読む生徒達でしたし、挨拶の声が大きく笑顔がいい生徒達でした。

君たちに「各 其の人の長するところに因り これを成就す。」という言葉贈ります。江戸時代後期の水戸藩の儒学者藤田幽谷が語ったもので、「それぞれがその人のもっている得意なことに取り組みれば、それをもとに大きな成果を上げることができる。」という意味です。苦手なことを克服することは大切なことですが、自分のプラス面をもっと伸ばしてみようと考えてみてはどうでしょう。そうすると前に進むエネルギーが湧いてきて、このエネルギーがマイナスを引き揚げてくれるのではないかと思うのです。



一人一人に卒業証書がメッセージと共に手渡されました

### 中 略



授与された卒業証書を手にし式辞を聞きました

歴史を誇る塩竈二中の卒業生であることを誉れとして、ご家族、後輩達、教職員、地域の皆様の応援を追い風とし、東日本大震災から立ち上がる塩竈市民、宮城県人の一人として君たちの活躍を期待します。ゆっくりでもいい、君たち一人一人が、たゆまずに確かな歩みを続けてほしいと願います。

【校長式辞より抜粋】



緊張感に包まれた会場



大森心暖さんが在校生を代表して送辞を発表



加藤颯真君が卒業生を代表して答辞を発表



全校生徒が心を一つにして歌った卒業記念合唱「流れゆく雲を見つめて」



3年生全員による合唱「時を越えて」  
歌詞の「精一杯の汗と涙 流した数だけきっと 君が生きていく強さに変わるときが来るから」のように中学校時代を糧にこれからの未来をたくましく、力強く生きてほしいと誰もが思った瞬間でした。



## 大先輩の皆様 宜しくお祈いします

## 同窓会入会式



後期入試を終えた、3月8日(木)の2校時に同窓会入会式を行いました。同窓会入会式には、渡辺英敏同窓会会長をはじめ、嶋村宗男副会長にご臨席を賜りました。

渡辺会長から「本校は、今年度卒業した103名を加えて14,168名の同窓生がいます。様々な場面で活躍されている方や地域に根を張って活躍されている先輩方が大勢いらっしゃいます。

この日から、卒業生の皆さんは、塩竈市立第二中学校の同窓生となり、歴史ある二中の同窓生としての誇りを胸に抱き、横や縦のつながりを大切にして、地域の発展のために活躍することを期待しています。」と励ましの言葉をいただきました。

### 各学級の世話人は以下のとおりとなりました！！

	1 組	2 組	3 組
生徒氏名	加藤 颯真	後藤 柊翔	小野 秀隆
	高橋 ユウ	名取 紗智	大久保 琴音